

## ウォータープルーフケース マリンパック

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

### ⚠ 警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この**取扱説明書をよくお読み**のうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この**取扱説明書をよくお読み**のうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## MPK-WG

© 2011 Sony Corporation Printed in Japan

http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

## 安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る**
- 故障したら使わずに、ソニーの相談窓口**に相談する

<div><div><span>変な音やにおいがしたら、煙が出たら</span></div></div>	<div><div><span>ⓐ電源を切る</span></div></div> <div><div><span>ⓑソニーの相談窓口</span></div></div>
<div><div><span>この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。</span></div></div>	<div><div><span>この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。</span></div></div>
行為を禁止する記号	行為を指示する記号
<span><span><span>⊘</span></span></span>	<span><span><span>!</span></span></span>
禁止	注意

<span><span><span>⚠</span></span></span>	下記の注意事項を守らないと、 <b>事故により死亡や大けが</b> の原因となります。	<span><span><span>!</span></span></span>
<span><span><span>!</span></span></span>	<b>水中の使用は周囲の状況を把握し、安全に充分注意を払う</b> 注意を怠ると、潜水事故の原因となります。	注意
<span><span><span>!</span></span></span>	<b>万一、マリンパックに水漏れが発生した場合</b> あわてず身体に影響がないように、浮上時の減圧時間を守り、周囲の状況に注意しながら浮上してください。	注意

<span><span><span>!</span></span></span>	下記の注意事項を守らないと、 <b>けが</b> をすることがあります。	<span><span><span>⊘</span></span></span>
<span><span><span>!</span></span></span>	<b>衝撃を与えない</b> ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。	禁止

## 主な特長

このマリンパック(以下**本機**とする)はソニーのデジタルスチルカメラ(以下**カメラ**とする)DSC-W580/W570専用です。(対象のカメラはすべての国または地域で取り扱いをしているわけではありません。)

お手持ちのカメラを本機に取り付けると、海辺(水中では水深40m以内)また雪や雨などの悪天候時での撮影ができます。

カメラを📷(水中)📷(水中スイングパノラマ)または📷(水中)に設定し、本機をお使いになると、水中をきれいに撮影できます。

### 取り扱い上の注意

- ご使用いただけるメモリーカード(メモリースティック デュオ<sup>®</sup>、SDカード)の種類については、カメラの取扱説明書をご確認ください。
- フロントガラスに強い衝撃を与えないでください。割れることがあります。
- 海辺や海上での本機の開閉はできるだけ避けてください。カメラの取り付けやメモリーカードの交換などは、湿気の少ない、潮風のあたらない場所で行ってください。
- 本機を水中に投げ込まないでください。
- 波が高い場所でのご使用は避けてください。
- 次のような環境でのご使用は避けてください。
  - 高温多湿な場所
  - −40℃を超える温水の中
  - −0℃以下の場所
 結露、水漏れは、カメラの故障の原因になります。
- 周囲温度が35℃を超えるときのご使用は、連続30分以内に行ってください。
- 高温多湿の場所や炎天下に長時間放置しないでください。やむをえず直射日光のあたる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけて保護してください。
- 本機に長時間収納して使用していると、カメラが熱くなります。日陰などの涼しい場所にしばらく放置してから、カメラを本機から取り出してください。
- カメラの温度が上がると自動的に電源が切れたり、撮影ができなくなることがあります。再度撮影するには、涼しい場所に置いてカメラの温度を下げてください。
- 飛行機に持ち込む場合には、付属のスペーサーを使用し本機を開けた状態にしてください。密閉状態の場合、気圧の変化で開けにくくなる場合があります。

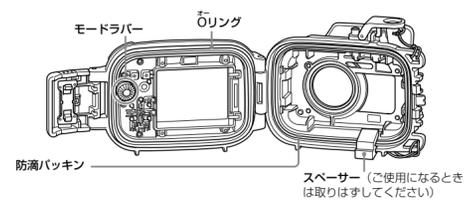
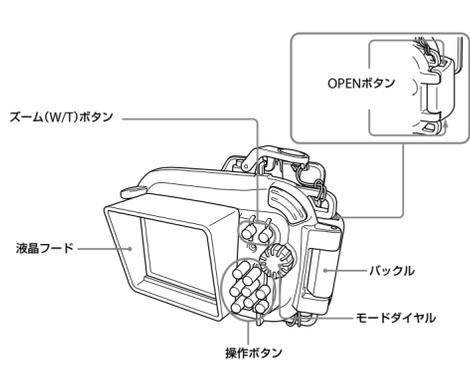
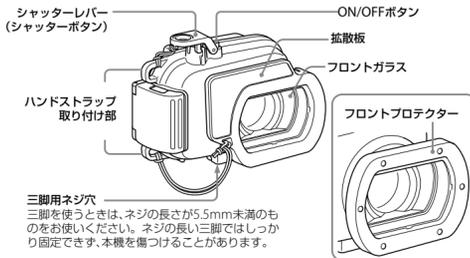
リングのはずれやはさみ込み、ゴミの付着などがあると、水中で水漏れがおきます。必ず確認したあとに、ご使用ください。詳しくは、リングメンテナンスマニュアルをお読みください。

本機にサンオイルなどが付着したときは、必ずぬるま湯でよく洗い流してください。付着したまま放置していると、本機表面の変色やダメージ(表面のヒビなど)の原因となります。

**水漏れについて**  
万一本機内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止してください。カメラがぬれた場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。修理費用はおお客様のご負担となります。

**フロントガラスのくもり止め効果について**  
フロントガラスは、くもり止めの効果がある構造になっています。ただし、カメラの取り付けは湿気の少ない室内などで行ってください。

### 各部の名前



## シャッターレバーの取り付け／取りはずし

シャッターレバーは取りはずし、取り付けが可能です。好みによってお使いください。



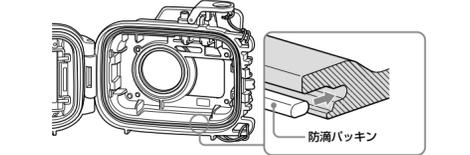
## お使いになる前に必ずお読みください

- 実際に水中で撮影する前に、水深1mくらいのところで、カメラが正常に作動するか、また本機に水漏れがないかを確認してから、潜水を開始してください。
- 万一本機の不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材(カメラ、バッテリーなど)の損害、記録内容、および撮影に要した諸費用などの補償はご容赦ください。

## Oリング／防滴パッキンについて

**Oリングについて**  
本機はOリングを使用して防水性を保っています。詳しくは、別冊のOリングメンテナンスマニュアルをご覧ください。Oリングの取り扱いかたが不適切だと水漏れの原因になります。

**防滴パッキンについて**  
防滴パッキンは、本体からはずしたり、グリスを塗らないでください。防滴パッキンの浮き、はさみ込みは水漏れの原因となります。万一、防滴パッキンがはずれた場合は、ねじれないように注意して取り付けてください。



**Oリングと防滴パッキンの耐用年数**  
Oリング  
本機の使用頻度や保存状態によって変わりますが、1年程度です。  
**防滴パッキン**  
防滴パッキンに傷・ヒビが見つかったら交換してください。  
交換後に、水漏れしないことを確認してください。

**グリスについて**  
グリスは付属の青いチューブのグリスをお使いください。黄色いチューブのグリスや他社のグリスを使うと、Oリングを傷め、水漏れします。

## お手入れのしかた

- 海でのご使用後は、必ず、バックルをはずす前に真水(水道水など)で洗い、塩分や砂をおとしてから、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。30分程度、真水に浸しておくことをおすすめします。塩分がついたままにしておく、金属部分が傷ついたり、さびたりして、水漏れの原因になることがあります。
- サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
- 本機内部は、乾いた柔らかい布で拭き、水洗いはしないでください。上記のお手入れは本機をご使用のたびに必ず行ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

**保管するときは**  

- Oリングの劣化を防ぐため、お買い上げ時に付いていたスペーサーを取り付けてください。



- Oリングにホコリがつかないようにしてください。
- Oリングにグリスを薄く塗って溝に入れ、風通しのよい涼しいところに保管してください。バックルは締めないでください。
- 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、しょうのうなどを入れている場所での保管は、機材を傷めますので避けてください。

### ダイビングの前に

- 水中撮影をする前に、水深1m程度のところで正常に作動するか、また水漏れがないか確認してから潜水を始めてください。
- カメラは、ダイビングの前にあらかじめ本機に取り付け、船上や海岸などでの本機の開閉は、できるだけ避けてください。カメラを取り付けるときは、できるだけ湿気の少ないところで行ってください。
- ご使用前に、本機の前後のボディの間に異物のはさみ、ゴミがないかを確認してください。
- ご使用前に、必ず撮影可能枚数、バッテリーの残量をご確認ください。

### 撮影に適した時間

太陽が真上にある午前10時から午後2時頃までが、撮影に最も適した時間です。

## 保証書とアフターサービス

**保証書**  

- この製品には保証書が添付されています。お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

**アフターサービス**  
**調子が悪いときはまずチェック**  
 この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

**それでも具合の悪いときは**  
 ソニーの相談窓口にご相談ください。ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：MPK-WG
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ日

**保証期間中の修理は**  
 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

**保証書は国内に限られています**  
 付属している保証書は、国内仕様です。海外で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

**保証期間経過後の修理は**  
 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。耐水圧試験および耐水圧試験に関わる修理には日数がかかります。またご要望により耐水圧試験をおこなう場合は有料となります。当社では本機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後5年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。

よくあるお問い合わせ、解決方法などは、<http://www.sony.co.jp/support> ホームページをご覧ください。

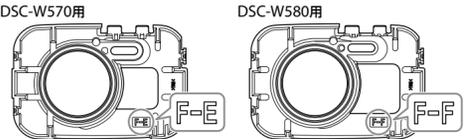
<b>別売アクセサリー</b> Oリングキット：ACCC-MP105 (パッケージ上の、 <span><span><span>📷</span></span></span> このアイコンをご確認のうえお求めください。)	<b>http://www.sony.co.jp/support</b>
当製品にはシーアンドシー・サンバック株式会社製 水中アクセサリーを接続する事が可能となっています。商品の詳しい情報については、以下のHPをご参照ください。 <a href="http://www.seaandsea.co.jp/products/accessory/mpk/index.html">http://www.seaandsea.co.jp/products/accessory/mpk/index.html</a>	
*Oリング、グリスは下記の相談窓口でもお求めになれます。	

FAX (共通)0120-333-389

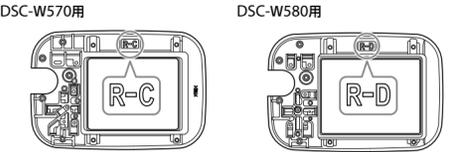
ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

## 準備

### フロントアタッチメント形状



### リアアタッチメント形状



アタッチメント対応表

機種	フロントアタッチメント	リアアタッチメント
DSC-W570	F-E*	R-C*
DSC-W580	F-F	R-D

\*お買い上げ時、本機に装着されています。

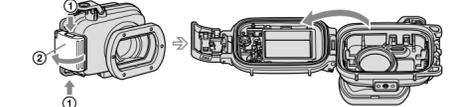
## アタッチメントを取り換える

アタッチメントを取り換える際は、無理な力を加えないでください。

\* DSC-W570をお使いのかたは以下の手順は不要です。  
\* アタッチメント対応表を確認して、必ずお使いのカメラに対応したアタッチメントを取り付けてください。

対応していないアタッチメントを取り付けると、カメラの故障や水漏れの原因になります。

**1** 本機を開ける。

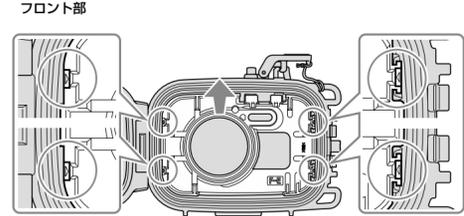


上下のOPENボタンを同時に押ししながら①、バックルを矢印②の方向にはずし、本機のボディを開く。

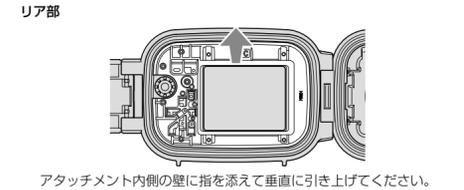
**ご注意**  
スぺーサーは、本機を保管する際に必要ですので、紛失しないようにご注意ください。

**2** アタッチメントを取り換える

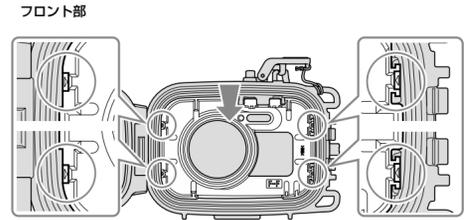
●DSC-W570用のフロントアタッチメントF-E、リアアタッチメントR-Cを取りはずす



図の○印部分を持って、垂直に引き上げてください。

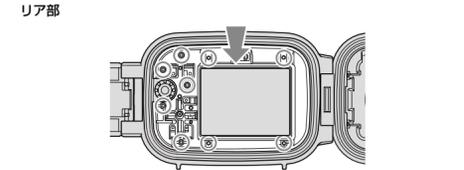


●DSC-W580用のフロントアタッチメントF-F、リアアタッチメントR-Dを取り付ける



図の○印位置をしっかりと押し込んでください。

アタッチメント交換後、正常に操作できるか確認してください。



図の○印位置をしっかりと押し込んでください。アタッチメント交換後、本機の操作ボタンを数回押して正常に動作するかご確認ください。

\*アタッチメントをはずして保管する場合は、変形させた状態で保管しないでください。

## Oリングと防滴パッキンの準備

- 本機に取り付けであるOリングを取りはずす。
- Oリングにグリスを塗る。Oリング、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに取り除き、Oリングに薄く均一にグリスを塗る。
- Oリングを取り付ける。
- 防滴パッキンに砂やゴミが付着していないかを確認する。

**ご注意**  
●防滴パッキンをはずしたり、グリスを塗らないでください。  
●砂やゴミが付着したままふたを閉めると、本体に傷をつけたり、水漏れの原因となることがあります。

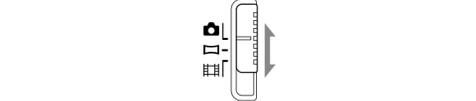
**別冊のOリングメンテナンスマニュアルを必ずお読みください。**  
Oリングの取り扱いについての重要な説明が書かれています。

## カメラの準備

カメラの取り付けは、湿気の少ない室内などでおこなってください。高温多湿な場所での本機の開閉は、本機前部のくもりの原因となります。

お使いのカメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。

- カメラのストラップをはずす。
- バッテリー、メモリーカードを入れる。十分に充電してあるバッテリーを入れてください。十分に容量のあるメモリーカードを入れてください。
- ON/OFF(電源)ボタンを押して、電源を入れる。
- 撮影モードを選択する。



静止画を撮影するとき

カメラのモードスイッチで (静止画撮影) を選択し、MENUボタンを押して (撮影モード)内のSCN(シーンセレクション)を選択してください。水中で撮影するときは、液晶画面上の (水中) を選択してください。

スイングパノラマ撮影をするとき

カメラのモードスイッチで (スイングパノラマ) を選択してください。水中で撮影するときは、液晶画面上の (水中スイングパノラマ) を選択してください。

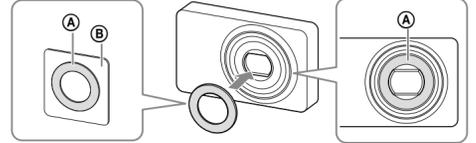
動画を撮影するとき

カメラのモードスイッチで (動画撮影) を選択してください。水中で撮影するときは、液晶画面上の (水中) を選択してください。

- AFイルミネーターを[切]にする。AFイルミネーターは使用できません。
- レンズや液晶画面が汚れていないことを確認する。

### 反射防止リングについて

本機ご使用時、カメラのレンズ先端面が光に反射し、画像に写り込む場合があります。これを軽減するために、反射防止リング⑥をレンズ先端面に付けて撮影することをおすすめします。



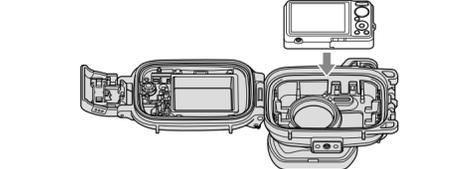
**ご注意**

- 反射防止リングの外径がレンズ先端面の外径からはみ出さないように貼ってください。
- 反射防止リングを貼る前に、接着面に汚れやごみなどが付着していないことを確認してから貼ってください。
- 接着面にごみなどが付着した場合は、湿った布などで拭き取ってください。
- 反射防止リングご使用後は、シート⑥に貼って保管してください。

## カメラを本機に取り付ける

カメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。電源が入ったままではカメラのレンズを傷つけることがあります。

- ON/OFF(電源)ボタンを押して、カメラの電源を切る。
- 本機にカメラを取り付ける。



カメラが正しく入っているか確認してください。

**3** ボディを閉じて、バックルを締める。

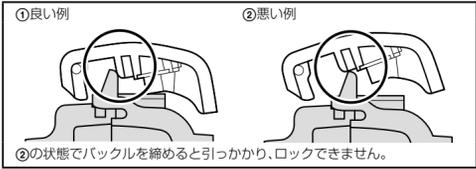
ボディをしっかりと押さえ、バックルがカチッと上下2箇所がロックされるまで押してください。



**ご注意**

- 本機のボディを閉じるとき、Oリングの表面と本機の溝に、ゴミや砂、毛髪などがついていないことを確かめてください。異物をはさみ込むと、水漏れの原因となることがあります。

ボディを閉じるときのバックルの位置



## 付属品を取り付ける

### ハンドストラップを取り付ける

ご使用前に付属のハンドストラップを取り付けることをおすすめします。

### 拡散板を取り付ける

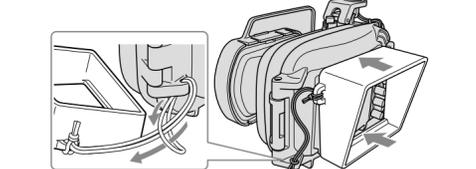
フラッシュ撮影する場合は拡散板を使用します。フロントプロテクターに拡散板の爪がはまるように強く押し込みます。



### 液晶フードの取り付け、取りはずしかた

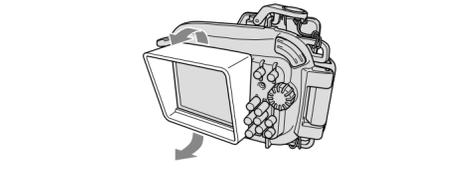
取り付けかた

- 付属の脱落防止ひもを取り付ける。
- 図のように液晶フード取り付け用のガイド凹部にあわせて強く押し込む。



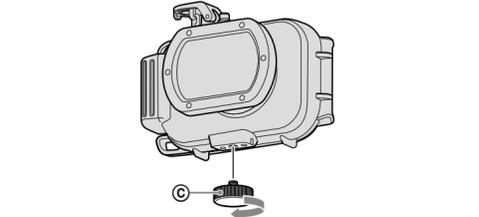
取りはずしかた

液晶フードを外に広げるようにして、ガイドから取りはずします。



### ウエイトを取り付ける

水中では図のようにウエイト⑩を取り付けてください。

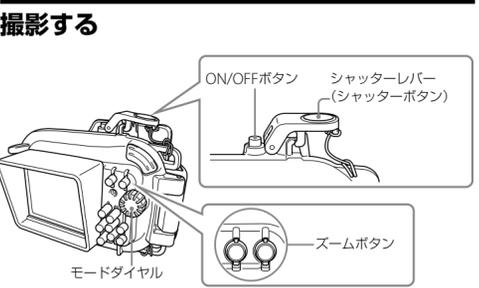


**ご注意**

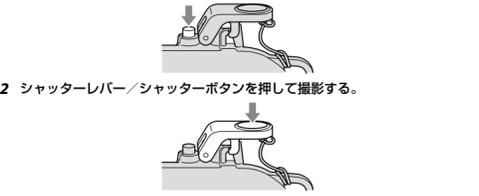
本機のボディを閉じるときに、ストラップや脱落防止ひものはさみ込みにご注意ください。はさみ込むと水漏れの原因となることがあります。

## 本機を使う

### 撮影する

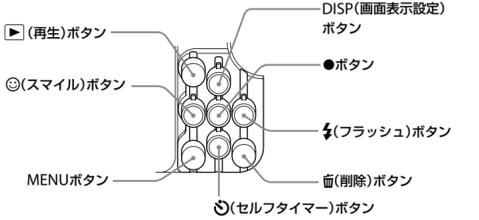


**1** 電源を入れる。



### さまざまな機能を使う／設定する

本機に取り付けた状態で、カメラのさまざまな機能を使うことができます。



### モードを選択する

本機のモードダイヤルで撮影モードを選択することができます。

静止画を撮影するとき…………… (静止画撮影)  
スイングパノラマ撮影するとき…… (スイングパノラマ撮影)  
動画を撮影するとき…………… (動画撮影)  
動画撮影時は音声を正常に記録することはできません。

撮影モードを (静止画撮影)、 (スイングパノラマ撮影)または (動画撮影)に設定したとき、各撮影モードの中にあるモードを選択することもできます。本機のMENUボタンを押し、 (スマイル)ボタン/ (フラッシュ)ボタン、DISP(画面表示設定)ボタン (セルフタイマー)ボタンで希望のモード\*を選択してください。

\*水中で静止画撮影をするときは、シーンセレクションの中の (水中)をお使いになることをおすすめします。水中でスイングパノラマ撮影するときは、スイングパノラマ撮影モードの (水中スイングパノラマ)をお使いになることをおすすめします。水中で動画撮影をするときは、動画撮影モードの中の (水中)をお使いになることをおすすめします。

**ご注意**

- 静止画撮影のシーンセレクションの (水中)、スイングパノラマ撮影の (水中スイングパノラマ)、動画撮影の (水中)を選んでいるときに使用できる機能については、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 水中スイングパノラマ撮影する際は、体を安定させて撮影することをおすすめします。

### 水中ホワイトバランスを選択する

SCN(シーンセレクション)で (水中)、 (スイングパノラマ)または (動画撮影)で (水中スイングパノラマ)または (水中)を選んでいるときの色合いを調整します。

(オート)	水中で自然な色合いになるように自動調整する。
(水中1)	青色の強い水中に合わせる。
(水中2)	緑色の強い水中に合わせる。
(ワンプッシュ)	光源に合わせてホワイトバランスを一定の設定にする。[ワンプッシュ取込]で取り込んだ「白」が基準になる。 [オート]や他の設定で実際の色がうまく表現できないときなどに使用する。
(ワンプッシュ取込)	[ワンプッシュ]での基準になる「白」を取り込む。

**ご注意**

- 海の色によっては、[水中1]、[水中2]を選んでうまく合わないことがあります。
- フラッシュが[強制発光]の場合、水中ホワイトバランスは[オート]、[ワンプッシュ]、[ワンプッシュ取込]のみ選べます。
- フラッシュ充電中は[ワンプッシュ取込]を選択できません。
- [色合い(ホワイトバランス)]、[水中ホワイトバランス]で取り込んだ白の基準は、別々に記録されます。

設定方法はお使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

### ズーム(W/T)ボタンを使う

押し続けると、徐々に広角(Wide)になります。

押し続けると、徐々に望遠(Telephoto)になります。

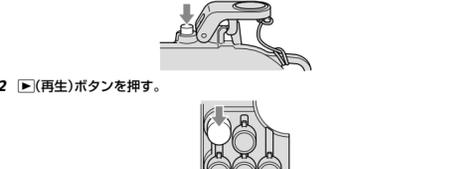
### 撮影時のご注意

- 撮影一時停止状態が一定時間続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、電源を入れ直してください。詳しくは、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 本機でフラッシュ撮影を行う場合、フラッシュ到達距離が短くなり全体的に暗くなる傾向があるため、撮影環境(真っ暗な場所など)によっては撮影距離が大幅に短くなることがあります。その場合は外付けの水中ライトやフラッシュの併用をおすすめします。
- 水中でフラッシュを発光すると、水中の浮遊物に反射して、多数の丸い光として撮影されてしまう場合があります。
- 撮影条件によっては、写り込みが発生する場合があります。そのような場合は撮影条件を変えてご使用ください。

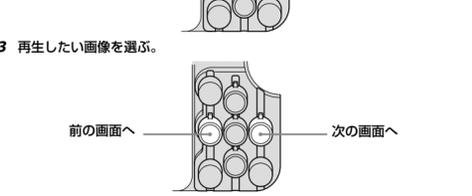
## 再生する

本機の操作ボタンを使って、撮影した画像を液晶画面で見ることができます。このとき音声は聞こえません。

**1** 電源を入れる。



**2** (再生) ボタンを押す。

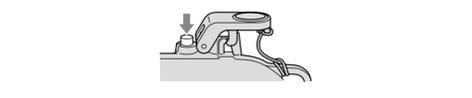


詳しくは、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

## カメラを取りはずす

**1** 電源を切る。

カメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。電源が入ったままではカメラのレンズを傷つけることがあります。



**2** 本機を開ける。

**3** カメラを取り出す。長時間ご使用になったときは、カメラが熱くなります。電源を切ってからしばらく放置したあとに、カメラを取り出してください。

カメラを取り出すとき、落とさないようにご注意ください。

**4** (水中)、 (水中スイングパノラマ)または (水中)を解除する。  
**5** AFイルミネーターを[オート]にする。

**ご注意**

本機を開ける前に、本機を水道水または真水で洗い、柔らかい布で水滴を拭き取ってください。本機を開けたときに、体や毛髪、ウエットスーツの袖口などからの水滴がカメラにかからないようにご注意ください。

## 故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に作動しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

- 本機内部に水滴がつく
  - Oリングに傷やヒビが入っている場合には、新しいものと交換する。
  - Oリングを正しく装着する。
  - バックルをカチッとロックされるまで締める。
- 撮影ができない
  - バッテリーを十分に充電する。
  - メモリーカードの残量がない場合、別のメモリーカードを入れる。または不要なデータを消す。
  - カメラの温度が上がっていたら、カメラの温度が下がるまで涼しいところに置く。
- 色がおかしい(水中での使用時)
  - (水中)、 (水中スイングパノラマ)または (水中)に設定されているか確認する。
  - 水中ホワイトバランスを確認する。
- モードが切り換わらない
  - モードラバー表面に汚れやゴミなどが付着していないか確認し、付着している場合は湿った布などで拭き取ってください。
- 本機のボタンが重い/引っぱり感がある/戻りが遅い
  - ボタンの内部にはOリングが入っているため、時間をかけてのご使用開始時はこのようになることがありますが、故障ではありません。

## 主な仕様

<b>材質</b>	プラスチック(PC、ABS)、ガラス
<b>防水構造</b>	Oリング、バックル
<b>耐圧</b>	水深40 mまで
<b>外部より操作可能なボタン</b>	ON/OFF(電源)、シャッター、ズーム(W/T)、MODE(モード)、コントロール(画面表示設定/セルフタイマー/スマイル/フラッシュ)、MENU、削除、再生
<b>外形寸法(最大突起部を除く)</b>	約148×112×89 mm(幅/高さ/奥行き)

<b>質量</b>	約480 g(本体のみ)
<b>同梱物</b>	ウォーターブルーフェース(1) ハンドストラップ(1) 液晶フード(1) 拡散板(1) フロントアタッチメント(2) リアアタッチメント(2) 反射防止リング(1) グリス(1) 交換用Oリング(1) スぺーサー (1) ウエイト(1) 印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。